

思いやり

第 13 号

発行者

名農高生徒指導部

平成30年10月23日(火)



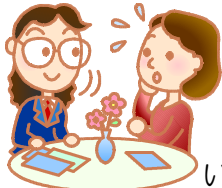
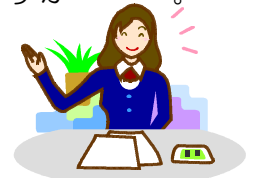
礼儀作法

『礼儀作法』は人間の生活の中で、身に付けておかなければならないことで、とても大切なことです。特に集団生活・行動面では無くてはならないとても重要なものです。

礼儀とは「エチケット」「マナー」のことで、作法は「ルール」と言ったところでしょうか。授業においても始まりと終わりには、挨拶をしますネ。「礼に始まって・礼で終わりです」相手を敬い、或いは感謝され人間関係が良好に構築されていきます。覚えておいてください。相手を敬う気持ちがあれば、相手からも感謝され、お互いの信頼関係がより親密になって行くとともに、自分を一回りも二回りも成長させることができます。

自分自身の身の回りを考えてみてください。友達同士ではどうですか？お互いを敬い、感謝していますか。信頼関係はどうですか？時々見かけるのですが、都合のいい時だけ友人の振りをして、困ったときに知らん振りをしている姿を見かけるのですが・・・。少し悲しい気がします。

これも礼儀としては、おかしいことではないでしょうか？やはりお互い気持ちよく過ごしていくためには、お互いを思いやる気持ち（礼儀）が大切だと思います。『親しき中にも礼儀あり』です。



ことば（言葉）part 1

ことば（言葉）とは、人々が感情、意志、考えなどを伝え合うために用いる音声。また、それを文字に表わしたもの。話したり語ったり、また、書いたりする表現行為。ものの言いかた。口のききかた。話しぶり。というように様々な表現で国語辞典等に書かれてあります。つまり、私たちの生活になくてはならないものです。

この言葉を自由に活用している私たちは、自分の気持ちを相手に伝えるために様々な言葉を組み合わせ表しています。時には人に優しく、時には厳しく話しかけています。日常茶飯事（にちじょうさはんじ）言葉を使っているのですが、この言葉が時として相手を傷つけ、恐怖感さえ与えてしまう凶器にさえも変わってしまいます。たった一言の言葉が、人間関係を崩れさせてしまう原因にさえ、なりかねないのです。でも、その逆に、感謝の言葉や励ましの言葉、応援の言葉は、その人にとって思いがけない人生のキッカケにも成りうるのです。

私の友人に、「バスケットがうまいな、能代に行ってみないか？」と言われそのままバスケットの強豪校に進み活躍した選手がいます。そしてそのままプレーヤーとして進学し大学ではナンバー6の選手としてチームの危機を救う活躍をしました。現在教員としてバスケットボールの指導に力を注いでいます。彼の実家は建設会社なので、家業を継ぐ予定でしたが、バスケットを教えたいという気持ちが強くなり、教員という職業を選んだのです。言葉一つをとってもその人の人生そのものにさえ影響を与えてしまう可能性があるのです。

いかがですか、今あなた方が使っている最も身近な『ことば（言葉）』にもっと思いやりを持って使ってみてはいかがでしょうか。



◆生徒の本分◆

学校を休まない・勉強する・きまいを守る